



テレマカシー

vol. **24**
2010.4.20発行

テレマカシーとは? ▶ Terima kasih = インドネシア語で感謝を表す言葉。在宅で看取らせていただいたある方は海外旅行が大好きでした。その方が最期にご家族に残された素敵な言葉を使わせていただきました。



満開の桜

おかげさまで8周年

皆さまのご支援に感謝いたします

2010年4月

ひばりクリニック・うりずん
高橋 昭彦

十数年前、宇都宮で在宅医療を始めた。以来、季節を感じながら訪問する毎日である。新緑の木々や秋の紅葉に見とれ、冬は雪化粧の日光連山を眺める。季節にはそれぞれ美しい風景があるが、春の桜は格別である。桜の枝がピンク色になるそのとき、今年も春が来たと思う。

認知症対応のグループホームでは、今年もお花見が行われた。希望があれば看取りまで行うそのグループホームには重度の人も多い。歩けない人は車いすで、歩ける人にはスタッフが寄り添い、全員で出かける。やがて満開の花の下でお弁当を広げると、いつもはトロミ食を食べるお年寄りが、いなり寿司を平らげる。いい雰囲気食欲も進むのだろう。

お花見の日の夕暮れ時、グループホームへ診察に訪れた。「どこかにお出かけされましたか?」と聞くと、ほとんどのお年寄りは「知らない」「行っていない」と言う。認知症が進むと、数時間前、ついには数分前の記憶も忘れてしまうのだ。桜を見るとお年寄りの顔は輝く。その一瞬の笑顔のために、グループホームでは毎年お花見に出かけるのである。

自宅で療養する、ある女性はがんの末期だった。桜の時期が近づき、家族はお花見の日を決めた。車の手配をして、洋服も用意した。その日の朝、訪問看護師のAさんが訪問して、女性に「今日はお花見ですね」と話しかけると、女性は首を横に振った。女性はお花見には行かないと言うのである。待っている家族に伝えたと、少し考えて「今日は、止めます」「桜の写真を撮ってきて見せます」と息子さんは答えた。娘さんが庭に咲いた花を女性に見せると、女性はうなずいた。

Aさんは、「孝行桜が満開でした。素晴らしいお花見でした」とその日の様子を表現した。その言葉に私は心をうたれた。私達は、元気な人の考えで行動しがちだが、本人の気持ちを尊重した素晴らしい対応だった。数日後、家族が見守るなか、女性は永眠された。

その日の出来事も忘れてしまう認知症のお年寄りにていねいに寄り添うグループホームのスタッフ、お花見に行かないという女性の気持ちを尊重した家族と訪問看護師Aさん。介護にとって大切なものがそこには間違いなくある。満開の桜を見ると、そのことを思い出す。

桜の季節に思うこと

長岡百穴の春



■長岡百穴古墳 (栃木県史跡)

宇都宮市長岡町にあるむき出しの凝灰岩(ぎょうかいがん)の斜面に掘り込まれた横穴群を長岡百穴(ひゃくあな)という。桜の時期は岩肌とのコントラストが美しい。かつて、大学生のとき、自転車で訪れたことがある。一見して「こ、これは?」と人の目をひく百穴の様子は全く変わらないが、あたりは徐々に整備され、今では見学用の駐車場ができています。7世紀前半に造られた群集墓だといわれている。



はやるか? あでやかな紅色。さて、この花は何でしょう?
(答えは4面)



医療的ケアが必要な子どもの地域生活を支援する

— うりずん 2年目のまとめから —



❖ はじめに

重症障がい児者レスパイトケア施設うりずん(うりずん)では、人工呼吸器や、経管栄養、たんの吸引などの医療的ケアが必要な子どもの日中預かりを行っています。おかげさまで平成22年4月から3年目の事業年度を迎えます。そこで21年度の実績、効果と出来事、広がり、課題などについて振り返りました。

❖ うりずんとは

平成19年度に当院で行った研究事業がきっかけとなり、宇都宮市が重症障がい児者医療的ケア支援事業を創設しました。それを受けて20年6月にうりずんがオープンしました。うりずんとは、沖縄の季節表現で春と夏の間の、やさしい風が吹く爽やかな季節のことをさします。

❖ 実績と経営

うりずんは、ひばりクリニックの営業日にあわせて運営しています。21年度の営業日数は238日でした。利用実数は、区分A(人工呼吸器装着状態)138名、区分B(吸引、経管栄養が必要な状態)213名、合わせて351名(20年度134名)でした。営業日1日あたりの平均利用者数は、1.47名でした。定員3名なので稼働率は49.2%でした。

登録人数は区分Aが4名、区分Bが7名の合わせて11名(20年度8名)でした。初年度よりも登録人数も利用実績も増えてきました。

経営状況です。21年度のうりずんの総収入は6,634,892円、内訳は、事業収入6,312,000円、その他の収入322,892円(寄付)でした。21年度の総支出は、8,429,581円、内訳は、人件費7,506,851円、その他の支出922,730円(通信費・光熱費・交際費・消耗品・研修費・雑費)でした。21年度収支は、1,794,689円の赤字でした。

《21年度のうりずん収支状況》

総 額		内 訳	
総収入	6,634,892円	事業収入	6,312,000円
		その他の収入	322,892円
総支出	8,429,581円	人 件 費	7,506,851円
		その他の支出	922,730円
差	▲ 1,794,689円		

❖ 効果と出来事

2年目ともなると普通に利用していただき、サービスらしくなってきた感じがします。嬉しい出来事がありました。

21年6月に、人工呼吸器をつけたたける君に弟君が生まれました(おめでとうございます!)。出産にあたってはカンファレンスを開き、①お母様に依存しない送迎の実施、②緊急時(つまり予定日までに分娩という事態になったとき)の体制構築、③短期入所の確保を行いました。

人工呼吸器をつけた子どものお母様が妊娠・出産されるということは、実はとても大変なことです。うりずんでは、お母様入院中の連日の預かりを行い、その際、制度を活用して訪問看護に朝と夕方に入ってもらいました。ヘルパー2名と介護タクシーでの送迎も実施されました。

❖ 広がり

うりずんを利用したいという声を受けて、日光市と壬生町で、宇都宮市とほぼ同様の制度が創設され、21年3月からは日光市の人工呼吸器をつけた子どもの利用が始まりました。

障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業という市町村が独自に行う事業の中に「日中一時支援」があります。日中一時支援の医療的ケア版といえる制度を創設した宇都宮市の取り組みは先駆的な前例として注目を集め、福岡や愛知の医師からは、同じような取り組みを試みたいという声もありました。

❖ 課 題

レスパイトケア(*)は、通所(デイサービス)や通園と違い、臨時の預かりという位置づけです。そのため、希望がある時に予約が入るという形であり、通所のように曜日を振り分けることができません。特別支援学校がある平日は利用が少なく、土曜日は希望人数が定員を超えてしまい調整やお断りをすることもあり申し訳ない限りです。春休みや夏休みなどの休みの時期も利用が増えます。

また、さまざまなサービスを組み合わせての送迎が試みられていますが、事業者側の理解と熱意がなければ成り立ちません。医療的ケアが必要な子どもをみることが出来るヘルパーが限られ、調整役も十分に機能しているとはいえません。

うりずんの課題は、そのまま医療的ケアが必要な子どもの地域生活の課題に直結しています。

❖ 展 望

地域で医療的ケアが必要な子どもが増える一方です。子どもたちの地域生活を支援するためには、通所系、訪問系に限らず、医療的ケアができる介護職が格段に増える必要があります。うりずんはこれまで常勤2名体制(看護師、介護福祉士)で、よくやってくれていますが、代わりがいないため負担が大きい状況でした。次の人材にどのような職種を確保するのかを考えた結果、介護職の強化と育成を優先するため、この4月より2名の非常勤介護職を雇用したところです。

❖ おわりに

在宅医療を行う診療所において、重症児のレスパイトケアは特別なことではなく、在宅医療の延長にあると考えています。お預かりするお子様にとって楽しい場であると、預ける親は罪悪感を抱かれないようです。安心して預けていただけるよう、出来る範囲で努力していきたいと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

* レスパイトケア (respite care)

うりずんが目指すレスパイトケアは、家族にとっては、ケアからの一時的な解放であり自分固有の時間を得る機会であり、子どもにとっても、自分を他人にゆだねる貴重な機会であり生活の幅を広げる体験となることです。

うりずん日記

うりずん サービス管理責任者
看護師 三上 綾子



今年は4月になってから桜が咲き、新学期とともに春を感じることが出来ました。新しい年度のスタートです。

うりずん初の試みとして、3月からお天気、利用者の体調、利用時間、処置の時間、スタッフの体制などの条件がそろったときに限り、近くのろまんちっく村までお散歩をするようにしました。

普段の室内で過ごされるときと違い、しっかりと周囲を見たり、音を聞いたり、様々な匂いに嬉しそうに興奮する皆さん。そんな姿を目にした時、なるべく多く皆さんを散歩に連れ出したいと思うのです。

実際に見たり、聞いたり、感じた実体験があれば、室内での本読みや紙芝居などもストーリーに合わせてイメージが膨らみやすく、楽しみも増すかもしれません。実際に今までに経験していると思われるものには、「知っているよ～」という反応(うなづく、声を出す、視線を動かす、笑顔が出るなど)が出ますが、経験していないものや知らないものに関しては、一瞬反応が止まってしまう、つまらなさそうにする姿があります。



▲ろまんちっく村までの散歩風景。風と日差しが気持ちいいね



▲花を咲かせましょ



雪だるま制作中▶

うりずんの利用者にとって、見たり、聞いたり、触ったり、感じたりという多くの実体験は、とても重要で成長には欠かせないものだ、とつくづく感じます。これからも、少しずつ新しい活動を展開できるように、スタッフは努力したいと思います。



▲鈴なったよ！

ここで、うりずんからのお知らせです。すでにご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、日光市、壬生町にお住まいの重症障がい児で医療的ケアが必要な方も、自治体が認めればうりずんの利用が可能となりました。詳細は、各自治体の障がい福祉担当課にお問合せください。

●平成22年1月～3月のご利用状況

区 分	1月	2月	3月	合 計
A	11	10	16	37
B	21	13	27	61
計	32	23	43	98

* 区分A …… 人工呼吸器装着の方
* 区分B …… 人工呼吸器を必要としない方
* いずれも延べご利用人数です

●平成22年1月～3月のご来所状況

	1月	2月	3月	合 計
見 学 者	9	4	10	21
ボランティア	0	0	0	0
計	9	4	10	21

* ボランティアは延べ人数です

●現在の登録状況

区分A(人工呼吸器装着の方)	4名
区分B(人工呼吸器を必要としない方)	7名
合計人数	11名
契約準備中の方 区分A	0名
契約準備中の方 区分B	0名
契約準備中の方の合計人数	0名

* 登録ご利用者の年齢 …… 1歳～17歳

●平成22年1月～3月の寄付関係

ご 寄 付	2 件
ご贈答品	1 件

わっどわ〜く

お知らせ

第2駐車場が
できました！

お蔭さまで通院される方が増え、スタッフも増えました。特にインフルエンザの流行時は駐車場が足りず、皆様にはご迷惑をおかけしていました。このたび、地元の皆さまのご理解とご尽力のおかげで、クリニック裏に第2駐車場が完成しました。乗用車なら約15台を置ける広さです。畑を駐車場にという声も一部あったのですが、第2駐車場を確保できたことで、今年も畑は続けることができます。ひばりクリニック敷地から第2駐車場へは一方通行です。お帰りは東側の道をご利用ください。

テレマカシー23号へ
寄せられた感想から

心療内科休止について

● 休止の選択をするにはきっと、始める時の倍以上の思索をし、エネルギーを使われたことと思います。…(中略)…その経験は、これからのクリニックにとって、良いものとなって返ってくるはずですし、休止された分、他に力を注がれることと思います。私的には「ほっと」しております。

(東京都 相澤 裕子さん)

医療的ケア実践セミナーについて

● 医療的ケアの実技研修は実施のチャンスを作るのがたいへん困難で、取り組みの輪をなかなか広げられない現状があり、苦慮しております。でも、モデル人形の写真を拝見して「ビックリ」!! しかもあんなに沢山有るなんて…とちょっと言葉を失いましたが、なんか可愛いやら可笑しいやらです(^ ^)

(東京都 遠藤 頼子さん)

♡ うりずんにご寄付を下された皆さん、テレマカシー発送用に切手をお送りくださいました皆さん、ありがとうございました。<(_)>

お出かけ
アルバム

うりずんでお花見に行きました。
(ろまんちっく村にて、本文は3面)



噴水広場にて(ろまんちっく村)

この花は何でしょう?(1面)の答え



A. 答えは「しだれ桃」でした。あるお宅の玄関にて(手前の花はしゃくなげ)

ハイチ地震・緊急支援募金
ありがとうございました。

♡ ご支援いただいた募金は、皆様のお気持ちとともに、2月15日付でハイチ友の会へ29,999円、とちぎボランティアネットワークへ29,999円送金いたしました。ご協力ありがとうございました。<(_)>

「ひばりクリニック」のご案内

● 診療時間 ●

時 間	日	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	(休診)	○	○	(休診)	○	訪問診療	○
午後 (在宅医療)	(休診)	訪問	訪問	(休診)	訪問	訪問診療	訪問

● ひばりクリニックの運営理念 ●

- 1) 在宅で過ごされるご利用者に出前の医療を提供すること
- 2) 子どもからお年寄りまで診る家庭医の機能を提供すること
- 3) 障がい児・者やお年寄りの生活を支える市民活動を支援すること



〒321-2118 栃木県宇都宮市新里町丙357-14
TEL 028-665-8890 FAX 028-665-8899
E-mail hibari-clinic-01@theia.ocn.ne.jp
U R L http://hibari-clinic.com/



栃木県宇都宮市の北西部、新里町(にっさとまち)にある、ログハウス風の小さな診療所です。

- JR宇都宮駅から「ろまんちっく村行」バス約35分
- お車で 東北自動車道 宇都宮ICより5分 宇都宮ろまんちっく村 入口向かい側

● この通信は、子どもから大人まで、障がいのある人もない人もどんな人も社会から排除されことなく、地域で一緒に生きていける世の中を目指して、ひばりクリニックが企画・編集しております。この通信についてのご意見・ご感想はひばりクリニックまでお寄せください。